

※一部非公開

令和2年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース

学校教育専攻

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、150分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

次の文章を読んで、以下の各問に答えなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(渡辺貴裕,「鳥山敏子とイメージの世界:生き生きとしたからだをとりもどす」,
田中耕治編著,『時代を拓いた教師たちⅡ:実践から教育を問い直す』,
日本標準,2009年,39~50ページ,抜粋・一部改変)

註:「スイミー」という名前の小さなかしこい魚の物語。

問1 下線部①のような活動と、鳥山の「なってみる」活動との違いについて、本文中の言葉を適宜用いながら 150 字以上 200 字以内で説明しなさい。

問2 下線部②『「教えなければならないから教える」——これをやっていると、からだは死んでくる』とはどういうことか、本文中の言葉を適宜用いながら 200 字以上 300 字以内で説明しなさい。

問3 下線部②の筆者の見解を踏まえて、小学校で教師が教えるということについて、あなたの考えを 800 字以上 1000 字以内で述べなさい。

令和2年度入学試験問題（前期日程）

小 論 文

教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース
学校教育専攻

出 題 の 意 図

学校教育専攻では、アドミッションポリシーに基づき、(1)教員として主体性を持ち、子ども及び社会と関わっていきたい人、(2)教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人を求めている。

この問題の題材は、1980年代を通して革新的な実践を次々に繰り広げた小学校教師である鳥山敏子の「からだ」の感覚にねざした授業実践から論じたものである。

問を通じ、①問題文の趣旨を読み取る読解力、②自分の意見を論理的に表現する力、③小学校教師として教えるということについて「からだ」の感覚という観点から考えてもらうことで、子どもや小学校に関わることについての興味や関心の程度をみる。